

WA

DA

I

NA

MI

第105回 わだい浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

食がっなぐ新たな縁

話題提供者 植田 淳子（食農総合研究所 特任助教）

現在、“食べ物”や“食べること”を通じて、これまでの身近な家族、友達、知り合い…等とは少し異なるつながりが新しく生まれて来ています。

例えば農山村や漁村等での滞在型旅行ともいわれる「グリーンツーリズム」では、その地域ならではの、食や田舎の体験、人々との交流を楽しみに訪れる都市住民や外国人旅行者が増加しつつあります。一方、都市部においても、地域の病院やJA、個人等が主体となり、児童を対象とした食育などの取り組みも始められており、いずれも「食」を介したつながりが築かれています。

今回はこれらの取り組みを紹介し、農業や農村、また都市部における食を通じた取り組みの可能性について考えてみたいと思います。

参加無料
申込不要

日時

2018年9月19日 水 19:00～20:30

場所

岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

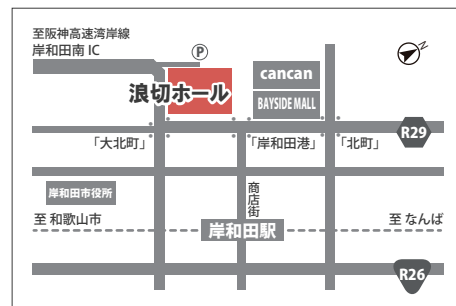
問合せ

和歌山大学 岸和田サテライト

岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

Tel & Fax : 072-433-0875

【E-mail】 kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



南海本線「岸和田」駅下車 徒歩約10分

駐車場有（終日無料）



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日（2月と8月を除く）の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

今後の開催予定

10月以降のわだいな浪切サロンは、現在調整中です。

決定次第、岸和田サテライトのホームページに掲載します。

第103回 「川」って足りてる？ー地域の自然資源を楽しみながら使う技ー

のアンケートより

- ◇「プール」と聞くと、人工的な施設で、消毒された水が入ったものというイメージしかなかったのですが、今日のお話のテーマであったように、自然を生かした河川プールがあるなんて知りませんでした。あまり泳げない人でも楽しめそうなので、素晴らしいなと思いました。(20代・女性)
- ◇河川のプールを作るという考えとても興味をもちました。自然と共生の一つとしてとても良い利用方法ですね。(60代・男性)
- ◇公共財としての河川の利用として、水辺や水源の管理の大切さと共にもっと有効利用できる方策をもっと広く考えるべきだと思う。大切な指摘だと考えています。(70代・男性)

第104回 発達障害のある人と関わる中でー大学生の支援を中心にー

のアンケートより

- ◇和大での取りくみを聞きたいと思ったので、最後に紹介していただけで良かったです。後半部分をさらに詳しく聞きたかったです。(30代・女性)
- ◇発達障害の特性・大学の取組がよく分かりました。個別の学生さんへの支援は大変だと思いますが、学生さんの将来につながる、大切な取り組みだと思います。(40代・女性)
- ◇小学校の教員をしています。私が接する子供達その後どのように育っていくのかということを考えながら話を聞かせていただきました。高等教育の中ですごすのは、小学校時代とは違ってもっと高度な人間関係が必要なのだろうと気づきました。その中で育っていくことができる社会になるように私自身も考えていきたいと思います。(40代・男性)

🔊 わだいな浪切サロン参加者の声

- ・大学の授業を体験できたみたいでとても良かった。(10代・女性)
- ・普段かかわる機会のない年齢の方々と話すことができ多くの発見があった。質問等も、見る視点が私とは異なるところも良かった。(20代・女性)
- ・質疑応答の時間があるのが良い。(60代・男性)

和歌山大学岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

【Tel&Fax】072-433-0875

【URL】<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>

🔍 岸和田サテライト

検索 🔍

